

みんなであわらを もっと元気に！

対話によるまちづくり宣言

佐々木 やすお

佐々木やすお 後援会会報
2025年11月 vol. 3

発行 佐々木やすお後援会
所在地 〒919-0632 あわら市春宮三丁目7番6号
TEL 0776-65-2123
メール yasuo313@mx7.fctv.ne.jp

日々の活動は各SNSをご覧ください



佐々木やすお
Facebook



佐々木やすお
Instagram

あわら市の元気が なくなっている。

このように感じることはありませんか？

私は、あわら市が大好きです。

一面に広がる青々とした田畑、地域に伝わる祭りのにぎやかな熱気、
個性豊かな歴史や文化、湯のぬくもり、ここに暮らす人たちの温かさ・・・
どれも身近な「当たり前」でありながら、世界に誇れる「あわら市の宝」です。

そんな「当たり前」の暮らしが、今揺らいでいます。

地域活動や対話の場で市民の皆さまとお話する中で、
毎日の暮らしやふるさとの将来を案じ、
未来に希望が持てないという、多くの不安の声を耳にしました。

「このむらには子どもがいない」

「空き家や耕作放棄の田畑が増えてきている」

「毎年のように自然災害が起きていて、あわら市は大丈夫だろうか」

「車がないのに、どうやって買い物や病院へ行けばいいのか」

こうした不安の声上がるのも無理はありません。

実際に数字やデータを見てみると、あわら市が直面する現実は明らかです。

だからこそ、このような現状から目を背けるわけにはいきません。

当たりの暮らしを取り戻し、次の世代へとつないでいくために、

今、あわら市は待ったなしの状況にあるのです。

あわら市には深刻な課題が山積みです。

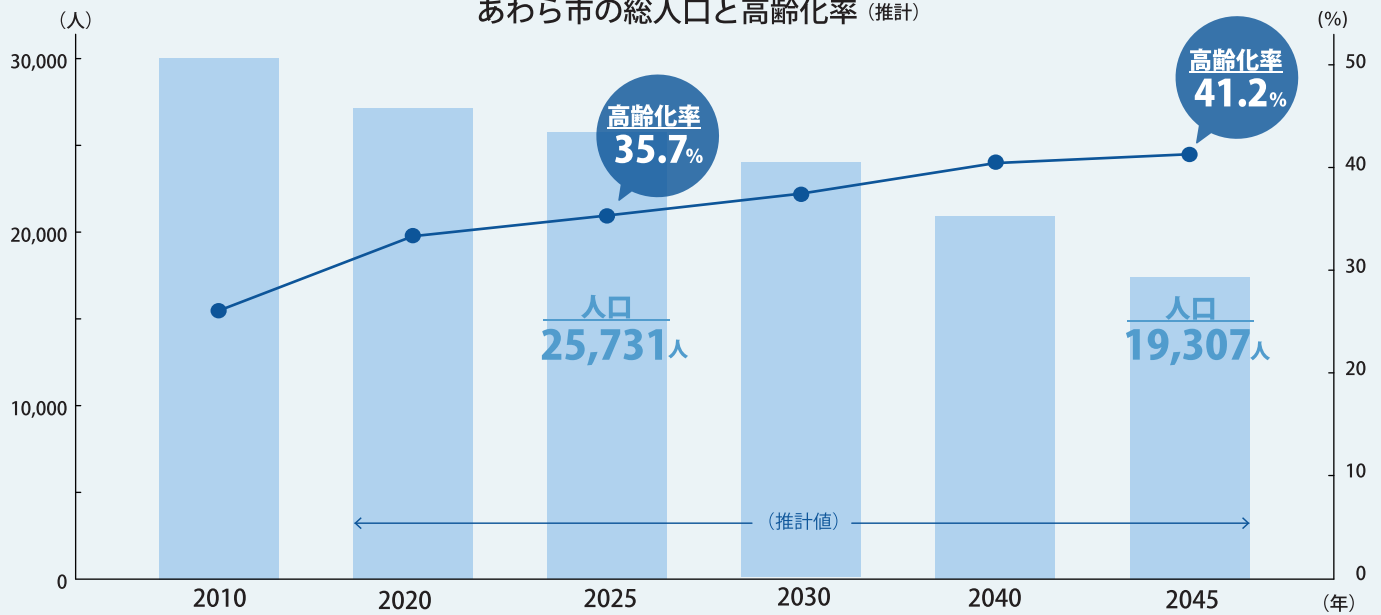
しかし、**今ならまだ間に合います。**

あわら市にはここにしかない魅力と可能性、
そして何より、あわらを愛する人たちがいます。

未来を選ぶのは、わたしたち自身です。
みんなで、あわら市をもっと元気に！

20年後には人口1万人台に、高齢者の割合は多くの地区で40%を超えます ※推計

あわら市の総人口と高齢化率（推計）

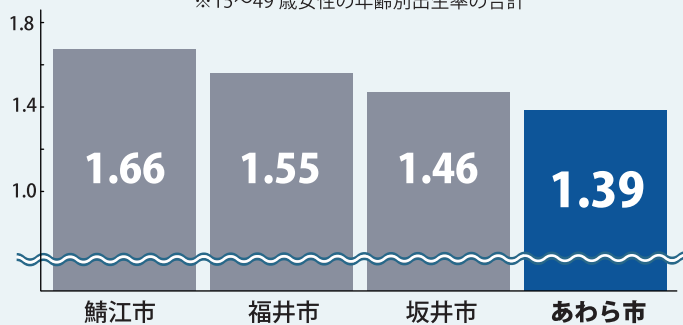


出典：第2次あわら市総合振興計画 p15 社会研準拠（パターン1）、あわら市・まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、令和3年（2021年）3月、p.27

少子化の進行が危機的なまちです

合計特殊出生率（2022）

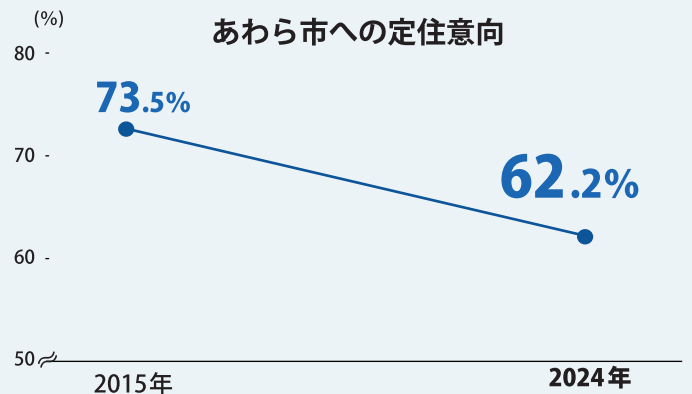
※15～49歳女性の年齢別出生率の合計



出典：厚生省『人口動態統計』市区町村別 TFR・令和4年

住み続けたい人が減っています

あわら市への定住意向

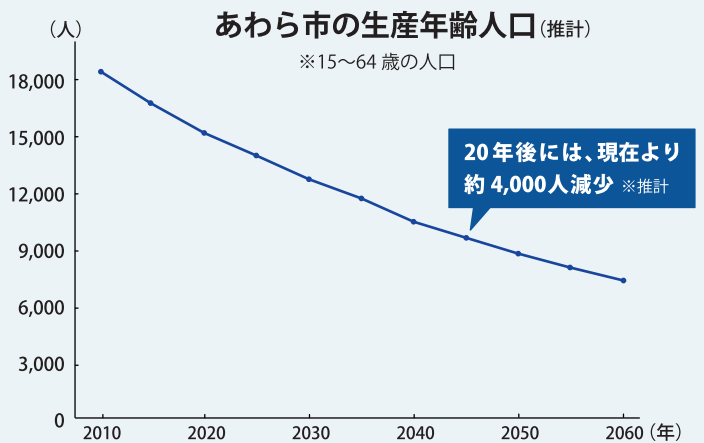


出典：第3次あわら市総合計画策定のためのアンケート調査 結果報告書 p16 問10 (R6)、あわら市・まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、令和3年（2021年）3月、p.39

まちの支え手が減り続けています

あわら市の生産年齢人口（推計）

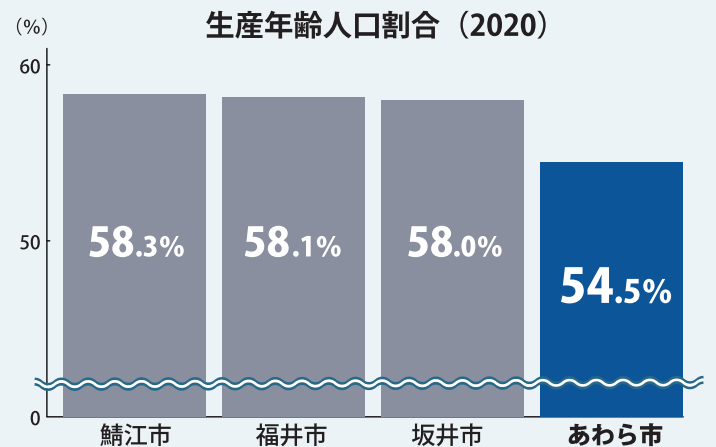
※15～64歳の人口



出典：あわら市・まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、令和3年（2021年）3月、p.27

支え手が少ないまちです

生産年齢人口割合（2020）



出典：令和二年国勢調査

いま選ぶのは、現状を傍観する未来か、今から変わる未来か。

佐々木やすおには、この現状に立ち向かう具体的なプランがあります。

なぜ、もう一度立つのか

こんにちは、佐々木やすおです。

私は2018年2月から2022年2月まで、あわら市長を1期務めさせていただきましたが、道半ば、前回の市長選挙で力及ばず落選しました。

これはひとえに、私の市政への向き合い方、市民のみなさまや市職員との接し方に対して厳しい評価が下ったものと、自らと向き合い、見直しと学びを重ねてきました。

それからおよそ4年、

地域の活動に参加し、市民の皆さまとの対話を重ねる中で、

大好きなふるさとあわらに対して何ができるのか、

深く考える日々を送ってきました。

弱まっていく地域のつながり、

不便になっていく暮らし、移動や商い、子や孫の将来——

みなさまの切実な声を目の当たりにして、

また、あわら市の未来のために活動している多くの人たちとの出会いを通じて、

「このままではいけない、大好きなあわら市のために人生をかけて働きたい」という思いが、確かな決意となりました。

市民のみなさまがふるさとに誇りを持ち、世界から愛されるまちにする。

私にはそんな未来を実現する明確なプランと、それを推進する実行力があります。

同時に前回の反省を踏まえ、みなさまとのていねいな対話から合意をつくり、

透明性を持って実行することを徹底します。

未来に向かう道は平坦なものではありません。改善には時間も必要です。

だからこそ、対話、実行、改善の三拍子で、一つひとつを確実に前へ進めます。

以前の私に足りなかった対話の姿勢、そして、より力強く明確なビジョンのもと、

「ああ、あわら市に住んでよかった」「これからもここに住み続けたい」

そう思える日常を取り戻すために、市民の声、現場の知恵、

これまでの経験を結集してあわら市を前に進めます。

「あわらで暮らせて良かった」

そんな言葉が、あちこちで聞こえるまちへ。



佐々木 やすお

あわらし生まれの 67 歳。

三世代 7 人の賑やかな家族と暮らし、

今は仲間と農業に従事しています。

芦原中学校、藤島高校から一橋大学法学部へ。

福井県庁では観光、商工労働、国際交流など幅広い仕事を
経験しながら、福井県の発展のために尽力してきました。

あわらし市長在任中は、各集落の現状や特徴を分析した

「集落カルテ」に基づく地域の元気づくり、

北陸新幹線県内開業を見据えたまちづくり、

豪雪や新型コロナ対応などに全力を尽くしてきました。

趣味は旅行で、中学時代から続けている剣道は四段です。

3 人の孫と遊ぶことが何よりの楽しみです。



Q. 佐々木さんって、市長時代はどんなことをしていたの？



A. あわらでの暮らしの便利さと幸せを底上げする土台づくりに徹しました。
すべての土台にあるのは、地域を元気にする「人づくり」です。

それぞれの集落に自ら、あるいは市職員が訪れ、各集落の悩みや課題をうかがい、それぞれの集落の将来像を描き、担い手育成に務めました。

あわらし市の観光を盛り上げるプロ市民を公募、養成しました。卒業生は地域の活性化や観光振興を担う第一人者として活躍しています。

未来を担う子どもたちは地域の宝。あわらで子どもを生み育てたい！と思える環境づくりに徹しました。元気で活動的なお年寄りを増やす体制づくりを進めました。

例えば…（一例）

地域の未来づくり

- 各集落に足を運び、地域の実情を分析した「集落カルテ」などに基づく地域の活性化、人材育成
- 吉崎・波松・新郷の休校利活用の推進による地域の魅力アップ



新幹線開業に向けたまちづくり

- あわらし市の賑わいの拠点となる芦原温泉駅「アフレア」や道の駅「蓮如の里あわら」の整備
- 観光に携わる人の稼ぐ力を育てる「感幸創造マイスター」の育成



出産子育て・高齢者福祉の充実

- 出産祝い金の創設
- 第三子以降のこども園無償化
- スクールバスの無償化
- フレイル予防の導入と普及による高齢者の健康づくり



そして、私が考える、明るい未来に向けたプランはこちらです





01

子どもの笑顔、高齢者や障がい者の安心安全を守り、くらしを豊かに

子育て 高齢者 障がい者 福祉

子どもたちの未来に向けた
投資は惜しみません。



- ・市内認定こども園に通う、すべての園児の保育料を無償化します。
- ・小中学校で用いるテストやドリル、実験キットなどの補助教材の購入費用を無償化します。
- ・安全で快適に過ごせる保育・教育環境を整え、デジタル教育の高度化やふるさと教育の充実を図ります。
- ・**現行の全天候型遊び場の整備計画を凍結し、設置場所や整備内容を再考します。**
- ・高齢者や障がい者の実態を把握し、関連施設や介護者の支援の充実を図ります。

02

地域の仕事を強くし、くらしを豊かに

農林水産業 商工業 観光 雇用 若者

若者がクリエイティブに
活躍できるまちに！



- ・農家や商工業者の担い手づくりや事業承継を後押しする支援策を充実します。
- ・自動運転トラクターやドローンによる作業の効率化、AIを活用した病虫害予測などスマート農業の導入を支援します。
- ・AI（人工知能）やRPA（ソフトウェアロボットによる自動化）など、企業や事業所による新技術の導入を支援します。
- ・**情報関連など若者が働きたいと思えるクリエイティブな企業の誘致や起業支援を進めます。**
- ・自然や歴史、文化などの地域資源を活かした体験型観光や学び型観光を充実し、あわら市のファンを増やします。
- ・温泉・食・おもてなしで市の魅力を発信する「和心あふれる国際的な感幸地」づくりを推進し、観光消費額を拡大します。

03

移動の自由を充実し、くらしを豊かに

高齢者 乗合タクシー 道路整備

乗合タクシーで
隣の市にも行けるように！



- ・乗合タクシーの運行見直しによる利便性向上と、坂井市や加賀市との連携により運行範囲を拡大します。
- ・市民や観光客の利便性向上のため、二次交通（バス、タクシー、レンタカーなど）の充実を図ります。
- ・都市計画道路南中央線・県道水口牛ノ谷線の早期整備を促進します。
- ・国道8号福井バイパスの早期4車線化、金津道路・牛ノ谷道路の整備促進を図ります。

04

災害に強いまちづくりで、くらしを豊かに

防災 減災 自然災害 インフラ再整備

もしものときに備える
強いまちをつくれます



- ・迅速な除雪・排雪の徹底、消雪・融雪設備の機能強化により、冬期間の市民生活を守ります。
- ・市の防災担当部署の機能を強化し、防災士の育成や自主防災組織との連携を強化します。
さらに、各区の防災資機材の充実により、地域における災害への対応力を高めます。
- ・大規模災害が起きた際、災害ボランティアや受け入れ物資を必要となるところへの確に送り届ける「受援力」を高めます。
- ・老朽化が進む道路や橋梁、上・下水道、市営住宅など社会インフラの強靱化を計画的かつ速やかに進めます。

05

元気な地域づくりで、くらしを豊かに

集落 地域コミュニティ

元気な地域づくりは
一丁目一番地！



- ・各集落の現状を可視化する「集落カルテ」を7年ぶりに改訂。それぞれの地域課題の解決を強力に支援します。
- ・**公民館や休校舎を地域コミュニティセンターに改め、ここを拠点に高齢者支援、防災、子育て支援、住環境の保全など、集落単位では解決が難しい課題に対応できる体制を整えます。**
- ・ボランティア、文化、芸術、スポーツ、国際交流などの活動を活発にするため、活動への支援を充実します。
- ・竹田川河川敷を利用した遊歩道や北潟湖畔公園へのグラウンドゴルフ場整備、人工芝グラウンドの整備など、地域資源を活かした健康・憩いの場づくりを進めます。

10年後、20年後も豊かに暮らせるまちとは？

< 座談会 > 佐々木やすお × 八木司

現場に寄り添った、これからの地域政治とはどんなかたちか？
ホテル八木代表 八木司さん（以下八木）との座談会を行いました。

政治・行政と現場のギャップを解消したい

八木 いきなりですが、前回の市長選に落選したあの頃の気持ちから聞かせてください。

佐々木 落選後は試練の時でした。びっしりだったスケジュールが、急に真っ白になる。時間ができると、自分に向き合わざるを得ません。「自分には何が足りなかったのだろう」。その問いがずっと心にあり、自分自身を根本から見つめ直す貴重な機会となりました。

八木 そこで、色々な人との出会いを求めたのですね。

佐々木 はい。ありがたいことに、声をかけてくれる方々がいました。外に出て、一市民目線でいろんな価値観に触れるなかで、「私はやはり、人や社会のために役に立ちたい」と思うようになりました。

ホテル八木 代表取締役社長
八木 司

1980年生まれ。大学卒業後あわら市にUターンし、2024年にホテル八木社長に。
3児のパパとしても日々奮闘中。

「好きな言葉は
『人生日々是精進』です」



人を育てることは、まちを育てること

八木 佐々木さんは、いつも人づくりに力を入れていましたよね。

佐々木 市長になってからは、職員のみなさんへの様々な研修を続けていました。一方で、観光にかかわる市民の企画力や稼ぐ力を育てる研修もやってきました。

八木 まちは人でできています。人を大切にできるまちは、自然と元気になるんですよね。

佐々木 人材育成や職員研修に力を入れていたので、厳しく見えたところもあったかもしれません。でも、根っこは「人が育つことが、まちの活力になる」。そこは変わりません。

吉崎「蓮如の里」に灯ったあかりとにぎわい

八木 吉崎の道の駅は象徴的な取り組みでしたね。最初は「あそこに人が来るのか」と言う人もいました。

佐々木 ええ（笑）。吉崎には歴史や文化、人の思いがあります。決して思いつきではなく、他の事例を研究し、地域の人たちと対話を重ね、国や県からの助言も得て形にしました。

佐々木 宗派や寺院、地域…立場が違う人たちが同じテーブルにつき、地域の将来について議論しました。地元の人からは、何百年の歴史で初めてのことで画期的だと言われました。地域の関係をつないだ取り組みだったと感じています。

暮らしに寄り添う市政へ

八木 市民のなかには「明日の暮らし」に不安を感じている人も多いですね。

佐々木 まずは市役所の外へ出て、現場を見て声を聞くことが大事です。地域の実情に応じて、適切にサポートしていきたいですね。

八木 それは、自然なやり方だと思います。あわらには、集落ごとに大切にしてきた生活や文化があります。

佐々木 それを、未来にちゃんと渡していきたいんです。だからこそ、私は「対話」を大切にします。現場に足を運び、声を聞く。最初に取り組みたいのは「集落実態調査」の再スタートです。現状を正しく知って、福祉・防災・人づくりへ結びつけていきます。困りごとと一緒に考え、すぐ動く。「対話でつくるまちづくり」を、もう一度徹底したい。



あわらの未来を明るく元気に

佐々木 私が好きな言葉に「積小為大」というのがあります。小さな改善を積み重ねながら、未来のあわらを明るく元気にしていきたいと思います。

八木 「あわらで暮らせて良かった」その言葉が、まちのあちこちで聞こえてほしいですね。佐々木さんのように、現場を歩き、市民と対話しながらまちをつくる姿勢に私も大いに期待しています。

佐々木 ありがとうございます。現場との対話を大切に、明るいあわらの未来を切り開いていきます。対話によるまちづくり宣言です。





佐々木やすお Q & A

佐々木さんは人の話を聞かない、
パワハラ気質だというのは本当ですか？

真摯に声を聞き、日々精進します

記録的な豪雪、コロナ対応などの困難に直面する中で、
職員のみなさんに無理をかけたこともあったと思います。
また、現場主義の徹底など職員の育成に熱意を持って
取り組みすぎた結果、職員の気持ちを汲み取れなかった
ことも多々あったと、大いに反省しています。
今は、目の前の相手への感謝や思いやりを何よりも大切に
しています。



芦原温泉駅周辺や温泉街など、まちなかの
整備を進めていますが、郊外や農村地域には
目が向いていないと思います。

集落機能の維持・向上は待ったなしの状況です

集落の実態を分析・把握する「集落カルテ」の作成や、
コミュニティセンターを拠点とした高齢者の生活支援、
子育て支援など、地域課題解決のため頑張ります！

都会に出た若者が戻ってきません。
なにか考えはありますか？

魅力的な企業を誘致、起業を応援します！

あわら市には、若者が働きたいと思える場所が少ないと
考えています。私が市長のときに、市内企業を紹介する
「BRIDGE」を刊行・配布し、若者に地元で働くことの
魅力をアピールしました。
若者が働きたいと思える
クリエイティブな企業の
誘致や起業支援を行い、
UIターンを促進します。



通院や買い物に苦勞しています。
乗合タクシーはもっと便利になりませんか？

近隣市と連携し、広域化を協議していきます

乗合タクシーの台数を増やすよう運行事業者と協議
します。また、坂井市や加賀市と協議し、
病院やショッピングセンターへの
運行拡大に努めます。



子育て支援について考えていることは？

「あわら市で子育てして良かった」と思えるような 支援を拡充します！

現在あわら市では、出産祝い金、18歳までの医療費
全額助成、親子で遊べて交流ができる子育て支援セン
ターの設置など、他市に負けない支援を行っています。
これに加え、こども園児すべての保育料と小中学校
教材費を無償化します。
また、全天候型遊び場整備計画に
ついては見直しを求める声も多く、
一時凍結し、再考します。



祖母がひとりで暮らしています。高齢者の
生きがい・健康づくりをどう考えていますか？

地域の人たちの元気は、あわら市の元気です

いつまでも生きがいをを持って元気に暮らせるよう、
高齢者が集える場所づくりやフレイル予防の強化を
進め、心も身体も地域のつながりも元氣なあわら市を
つくります！



市内各地で行っている「佐々木やすおと語る会」で寄せられた、みなさまからの
ご質問やご意見（抜粋）と、佐々木からのお答え・メッセージをまとめました。

わたしたちの生の声って、
本当に市長に届いているのですか？

気軽に声を届けられるしくみをつくります

現在「市長ふれあいトーク」などで市民の声をお聞き
しているようですが、日時調整や場所の確保など
面倒な手続きが必要となっています。インターネットや
SNSを活用した「住民意見収集システム」を取り入れ、
市民の声に迅速にお応えします！



こども園や小中学校は、
今後どうなっていくのでしょうか？

地域との十分な話し合いで未来を描きます

少子化が進み、こども園の経営は苦しく、小学校では
少人数クラスや複式学級となり、中学校では部活動の
維持が難しくなっています。

こうした中、子どもファーストで対応することが重要
です。こども園の経営安定化、小中学校の再編による
中規模化も視野に、地域との十分な話し合いのもと
最適解を見いだしていきます。

生活道路の門型側溝の整備は、
なぜこんなに遅いのですか？

集落の実態把握にもとづく予算を

現在の予算配分では、完了までに4～50年かか
ります。各集落の実態を把握したうえで予算を増額し、
皆さまの生活が快適になるよう努めます。

あわら市は観光に力を入れていますが、
旅館以外にメリットはあるのですか？

観光消費額を増やし、稼げるまちにします

観光は裾野の広い産業です。飲食やお土産の購入、体験を
通して飲食・サービス業や農業者などにも恩恵があり、
市の税収も増えていきます。

以前進めていた「スマートシティの実現」には
取り組まないのですか？

先端技術を活かし、便利なまちをつくります

情報通信技術やAIなどの最先端技術を活かして、地域
課題の解決や住民の利便性の向上を図るなど、先進的で
魅力あるまちづくりを進めます。

市の財政は大丈夫なの？
財源のやり繰りはできるのでしょうか？

無駄を省き、長期的な財政運営を！

人口減少により税収が減る一方で、介護や福祉に必要な
社会保障費、老朽化した上下水道といったインフラの
再整備などに支出がかさみ、楽観できる状況にはあり
ません。

業務改善、事業のスクラップアンドビルドを徹底し、
限られた財源を長期的な視点で配分することが重要です。
財政破綻を招かないよう、健全な財政運営を行います。

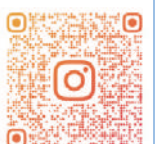


さあ、そのさきへ
みなさまの率直な
疑問やご意見を
お寄せください！

公式 Facebook, Instagram の
ダイレクトメールをご利用ください。



佐々木やすお
Facebook



佐々木やすお
Instagram

伊藤 憲治
(株)金津技研 代表

前市政での実績は多くの方が認める所ですが、進め方には批判もありました。安倍政権も2期目で多くの評価を受けたように、「大切なのは失敗から立ち上がる事」。まちをくまなく回り市の実情を更に理解した彼に、大きな期待をしています。

齊藤 愛夫
歯科医師 (あわら市)

長年、地域医療の現場で市民の声と暮らしに向き合ってきました。今必要なのは、現場に寄り添い、必要な政策をスピード感を持ち実行できるリーダーです。彼にはその胆力と覚悟があります。課題に正面から向き合い、次の段階へ力強く進めてくれることを期待します。

海渡 由紀子
コンテンツクリエイター

コロナ禍の飲食店を支える企画「TAKE OUT あわら」をやりたいと相談したとき、信じられない速さで動き、実現してくれました。情に厚く、まちのための努力を惜しまない人です。不器用な面もありますが、誠実で信頼できる方。応援します。

高野 治重
剣道恩師 教士八段

剣道は単に身体を鍛錬するだけではなく、礼節、忍耐力、勇気、平常心などを育む競技です。厳しい社会情勢が続く中、彼には中学時代から培ってきたそうした心を持って、人のため、社会のために献身してほしいと思います。

岸田 清
(一社)朝倉氏遺跡保存協会 前会長

一乗谷朝倉氏遺跡博物館が開館して3年が経ちますが、構想や調整にあたり忘れてはならない人が佐々木氏です。県観光営業部時代の行動力と実行力があってからこそ、今の博物館があると言っても過言ではありません。試練を経ての今、今後のご活躍を期待してやみません。

李 梅
元福井県国際交流員 浙江省

県庁で一緒にいた時から、佐々木様の行動力や国際交流に対する情熱に感銘を受けてきました。「外国人観光客が来て良かった」と思える、魅力的で国際的なまちづくりに大いに期待します。

東村 健二
高校同級生、県職員、元県教育長

高校の同級生としては正義感の強い剣士。県庁で共に仕事をした仲間としては熱血漢の仕事師。雌伏の4年間で人間として一回り大きくし、寛容を身にまとい、両翼を広げて市民の声をすくい上げます。市の未来を語る唯一無二の政治家です。

大塚 景三
番田区長、幼なじみ

幼馴染ですが、怒ったのを見たことがありません。まじめで熱い人で、よく冗談を言っては場を和ませてくれます。やるべきことを愚直にやり、結果を出す人です。区長時代も区の防災体制の強化をスピーディに進めるなど、ふるさとのことを真剣に考えている人です。

市内 40代女性

困難に立ち向かう真摯な姿勢と強い心を持つ方です。停滞する市政に終止符を打ち、市の発展のために誠実に一途に取り組んでくださると確信しています。私は佐々木さんを応援します。

市内 60代女性

将来を見据えた政策を打ち出し、実現する力がある佐々木さん。吉崎道の駅整備で地域の活気を取り戻し、雇用を生み出したのを見れば、それは明らかです。現状を打破し、希望ある元気なあわら市にするため、みんなで応援しましょう！

市内 60代男性

私は他市の市長秘書の経験があります。市長には、山積する課題の解決に向け、日夜精力的に取り組む力と、強力なリーダーシップが求められます。佐々木さんならば、豊富な経験と人脈で、市の確かな一歩を切り開いてくれると確信しています。

市内 50代男性

佐々木さんは農業に従事し、今回、市内各地の農業の現状を見て回ったとのこと。高齢化、担い手不足、鳥獣害の増加、耕作放棄地の拡大など。農業を知る者として各地の実態に応じた農業振興に尽力してくれることを期待しています。

市内 30代女性

これまでの成功と失敗を活かし、バランスの取れた政策を推進することを期待します。自然豊かなあわらと、将来を担う子どもたちを守り育て、子どもや若者がいきいき暮らせることを願っています。

市内 40代男性

豊富な経験を活かし、世界に市の魅力を発信し、誘客や特産品のブランド化を図ってほしい。また企業や商店街への支援などを通じ、地域経済の持続的な発展に取り組むことを期待します。

市内 70代男性

むらに活気がなくなり、生活に不安を抱える高齢者が増えています。農業を担う人も減り、荒れ地が増えています。現場を歩き回り市の実態を知る佐々木さんに、人を、むらを元気にしてくれることを期待しています。

市内 80代女性

私は主人の介護をしています。佐々木さんは、一市民の私の話を自分自身のことのように聞いてくださいました。40代の頃、アルツハイマーのお父様の介護に尽力されたとのこと。市民の悩みや困ったことに耳を傾け行動してくれる方だと思います。